

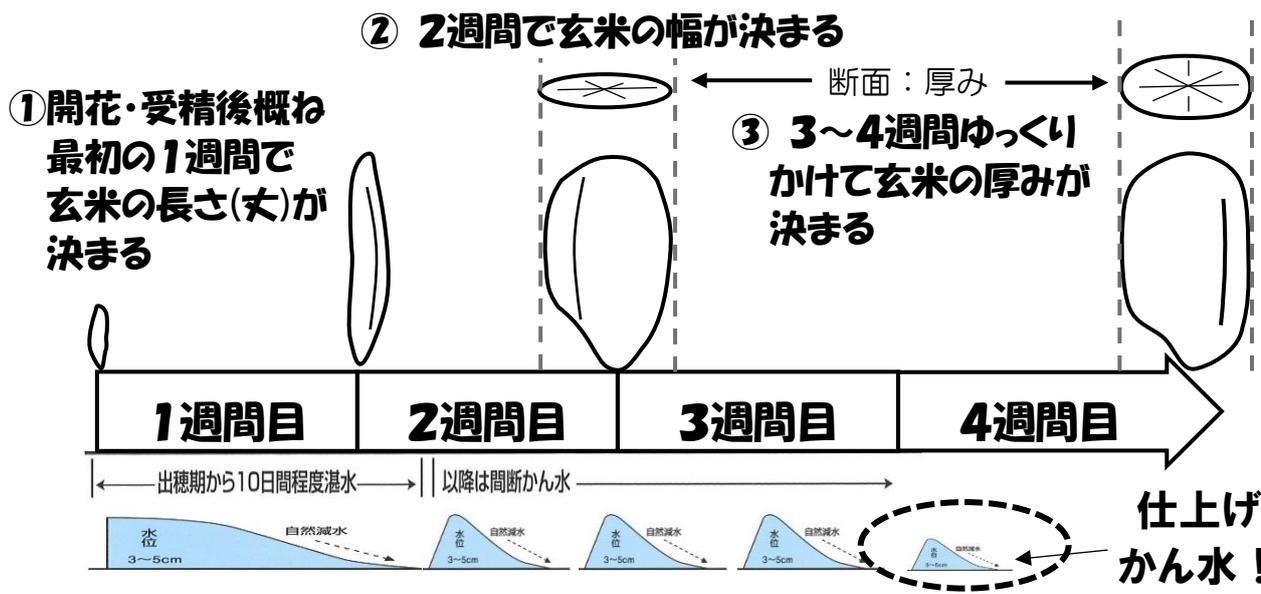
栽培指針と品質向上ポイント

R1.8月
JA佐渡営農事業部

1等米比率90%以上の達成と継続！「早期落水の防止」と「カメムシ防除」の徹底！

1. 出穂後の水管理は間断かん水の徹底！

- 玄米の大きさが決まるまで、出穂後約4週間（30日程度）かかり、水を吸いながらゆっくり厚くなります。早期落水は登熟不良となり品質の低下を招きます。
- 出穂後30日程度（早生品種は25日）**まで間断かん水（飽水管理）を行い、根の健全化と登熟に必要な水分補給を行いましょ！



間断かん水のイメージ…水がなくなったら入水するを繰り返します。
 ※ 長期間の湛水や田面が白く固くなるまで乾かすことは避けましょ。

- 水の確保が難しいほ場では最低限出穂時での湛水、他は湿潤を保ちましょ。
- 9月1日~7日の間に必ず最低1回は仕上げとして、かん水を行ないましょ。
- 台風の通過やフェーン現象、強風の恐れがある時は速やかにかん水をする！
- 深田や排水難ほ場では作業に併せて落水日を調整する。

2. カメムシ防除 … 今年の佐渡地域では多発生！適期防除の徹底！！

新潟県内でも今年の佐渡地域ではカメムシが「やや多~多」と多く確認されています！

粉・液剤の場合 … 2回散布が原則です。斑点米常発地や雑木林付近等でカメムシ密度が高い場合は畦畔も含めて散布してください。



※上記防除内容は、5割減減に取り組まれている方は薬剤カウント[9成分]を超えないようにご注意ください。

●令和元年産「JA 佐渡米」栽培実績書 … 提出日 8月20日（火）【黄色の用紙】
 最終防除が終了した（または予定）段階でなるべく早くご提出の協力をお願いいたします。
 この文書に関する問い合わせ先 JA佐渡 各営農窓口